夢神楽公演台本をご覧いただくにあたって

■ 夢神楽の台本は、演出台本ではなく、夢神楽の世界観や作品を形にするにあたっての、台詞の流れをまとめた台本になります。本作は、物販用に実際の台本にト書きなどが加筆、修正されておりますが、最低限の舞台設定、演出のみの加筆、修正となっておりますので、ご了承ください。

■ 台本上に、「イメージシーン」「イメージダンス」「イメージアクション」という表記がありますが、これは夢神楽の演出表記になります。基本的には、台詞や詩的表現、言葉遊び、キャラクターの動きを用いて世界観や設定を表現するものを、「イメージシーン」、それにダンスが加わったものを「イメージダンス」、殺陣表現やアクションを交えて表現するものを「イメージアクション」と表記しています。
その他、舞台上から役者が去ることを「ハケル」、舞台上でシーンが切り替わっていく箇所を、照明の変化も含め「変転」と表記しています。
明暗転については、最低限必要箇所のみ記載してあります。

■ 本作の著作は夢神楽に帰属し、この台本を無断で上演、使用することは出来ません。

目次

■ 登場人物・・・・・・・・・・・・２頁
■ 「陽継ぎの双輪」台本一幕・・・・３頁
■ 「陽継ぎの双輪」台本二幕・・・・２２頁
■ 必須小道具一覧・・・・・・・・・３７頁
■ 上演記録・・・・・・・・・・・・３８頁

登場人物

【混血の契約者】
アッシュ・・・・・第二の契約者で、不死身の牙。
セレン・・・・・・第二の契約者で、アッシュの命を守る棺。

【地上カルトの民】
ハーディス・・・・ヴァンディアの不死の力を探ろうと、ヴァンディアに忍び込む三人のリーダー格。
ソフィア・・・・・持ち前の明るさと勝気さで、三人を支える女の子。
ヴィドー・・・・・多少臆病だが、心優しき青年。

【太陽を求める者】
シュラム・・・・・国王クロイツの失脚を狙う市民集団のリーダー。
ラピス・・・・・・太陽を求める者の一人。
クレイ・・・・・・太陽を求める者の一人。

【ブラン教会】
トレランシア・・・国で一番大きな教会、ブラン教会の司祭。
※台本上はランシアと表記
ノイン・・・・・・トレランシアに仕える聖職者。
＊＊＊
シャトー・・・・ブラン教会に身を潜める混血村の生き残り。

【ヴァンディア王国】
クロイツ・・・・・現国王。前国王を抹殺し、国を閉じ圧政を強いた。仮面をかぶり顔を隠している為、仮面王と呼ばれる。
ガイ・・・・・・・前国王の時より国に仕える将軍の一人。
ダリウス・・・・・前国王の時より国に仕える将軍の一人。
マキシオ・・・・・国王軍将軍の一人。クロイツに仕える。
＊＊＊
ジュネ・・・・・・前国王の子息。父王が抹殺された後、クロイツに王位を譲ることで城に残ることを許された。
サキ・・・・・・・ジュネの妹姫。
カーミラ・・・・・ジュネとサキの侍女。過去の記憶を失っている。

【導く者】
レド・・・・・・・混血村からアッシュとセレンを救い出し、契約を結ばせる。

明けない夜がないように
　昇らない太陽がないように
　　ワタシとアナタの世界は終わる・・・
それでも・・・
　ふたりのヒツギに灯る夜は
　　アナタのくれたワタシの陽だまり・・・

1幕

1　冒頭

舞台に靴音が響く。
舞台上に仮面をしたクロイツ。その背後に深くフードを被ったセレン。手にはナイフを握っている。

セレン　見つけた。
クロイツ　お前か。
セレン　私を知ってるの？
クロイツ　勿論だ。契約者…お前は棺の方だったか。
セレン　詳しいのね。私もあなたのことはよく知ってる。仮面王クロイツ。前王に成り代わり、この国を手にした王。民に慕われた優しき前国王を抹殺し、独裁国家を築き上げた王、と言った方がよかったかしら。
クロイツ　棘のある言い方だな。
セレン　それだけのことをしてきたのよ、あなたは。あなたのせいでこの国は太陽を亡くした。
クロイツ　国を脅かす化け物に言われたくはないな。
セレン　…化け物…。
クロイツ　そうだろ？　混血の契約者。
セレン　…黙れ！（ナイフを振り上げる）化け物はあなたも同じでしょう！
クロイツ　セレン。
セレン　…名前を…本当に何でも知っているのね。
クロイツ　お前たちの契約が交わされたあの日から、いつか会いに来ると思っていた。
セレン　それじゃあ…やっぱりあなたが…。やっと…やっと見つけた。最初の契約者…あなたを…あなたを殺す為に私たちは…！
クロイツ　思ってなかったよ。こんな再会になるとはな。（仮面をはずす）
セレン　…あなたは…そんな…。どうして…。
クロイツ　ずっとお前を見てきたよ。あの日、お前たちの村が滅ぼされたあの日から、ずっとな。

セレン、ハケル。

クロイツ　またすぐに会いに来い。お前にはもう、時間がないんだろ。

2　はじまり

過去の風景。

カーミラ　ねぇ、知ってる？　この村に古くから伝わる指輪の伝承。この国のどこかに隠されているという一対の指輪。それを共に身につけた特殊な血筋の二人は、契約者となる。
アッシュ　契約者って？
カーミラ　命を繋ぐ契約者。契約を交わした二人は、一人が牙、一人が棺となって命を共有するの。契約を交わした日から、牙の命は棺に預けられその体は不死身となる。そして棺が生き続ける限り、牙も決して死ぬことはない。
アッシュ　不死身の牙か…聞いたかよ、セレン。不死身だって。
セレン　（登場して）うん。ねぇ、カーミラ。それじゃあ不死身の牙は、棺が死んじゃったらどうなるの？

セレンはフードを脱ぎ、長い髪をおろしている。

カーミラ　棺が死ぬときは、牙も死んでしまうの。それが命を共有するということ。
アッシュ　じゃあ、不死身の牙は棺を倒さないと死なないんだな。
セレン　なんか怖いな。棺となった人は、いつも二人分の命を守らなきゃいけないんでしょ。
カーミラ　そうね。でも少し素敵だと思わない？　指輪に誓いをたてた牙と棺は、必ず同じ時を生きる。生きるも死ぬも一緒。二人は命で繋がっている。
セレン　命で…繋がる…。でも…二人分の命を背負う棺も、背負わせる牙も…怖くないのかな…。
カーミラ　どうだろう。でも…きっとね、きっと…指輪を交わす二人は、互いを思って契約を交わすと思うから。私が棺なら、怖くても大切に出来ると思う。
アッシュ　二人の繋がりを。
セレン　バカだな、セレン。もっと簡単な話だろ。
アッシュ　え？
セレン　牙は不死身なんだから、ずっと棺の傍にいて、牙が棺を守ればいい。カーミラが棺なら、俺が牙になって、カーミラを守る。
アッシュが牙なら安心ね。

変転。アッシュとカーミラの残像を追うセレン。

セレン　古のおとぎ話。この国のどこかに隠されているという一対の指輪。それを共に身につけた二人は、

契約者となり、一人が牙、一人が棺となって命を共有する。牙の命は棺に預けられその体は不死身となり、棺が生き続ける限り、牙も決して死ぬことはない。でも…いずれ契約は終わる。二人の「時」は…終わりを告げるの。そして…契約を交わせるのは、穢れた血を持つ者…混血のみ。だからこそ私たちはひっそりと息をひそめて暮らしていた。混血だと知られないように。混血の契約者が生まれた、あの日までは。

変転。現在。

シュラム　混血の契約者…。
レド　そうだ。お前たちも噂くらいは聞いたことがあるだろ。不死者の話を。
シュラム　不死者の話なら聞いたことはある。死ぬことのない化け物だろ？
ラピス　それが混血の契約者…。でも本当に不死者なんて存在するの？
レド　ああ。だからこうしてお前たちに知らせに来た。太陽を目指すお前たちにな。
シュラム　しかも聞き捨てならないことを言ったな。その化け物は、混血…？
クレイ　混血か…。
シュラム　何か知ってるのか、クレイ。
クレイ　不死者の伝承発祥の地は、…混血村だ。
ラピス　混血村って…五年前に国王軍に滅ぼされた村よね？
シュラム　そうだ。この国ヴァンディアにとって、種族の血は尊いもの。他種族との混血は禁忌。しかし小さな村の青年が他種族の女を迎え、混血児が生まれてしまった。それ以来、村はひっそりと、混血児を匿ってきたんだ。
レド　そしてそれが国王軍にばれ、滅ぼされた。しかし、どうして国王軍にその情報が伝わったのか…。
クレイ　なるほど、混血か。
ラピス　どういうこと？
クレイ　五年前…生まれたんだろう、不死者が。
レド　そういうことだ。村から不死者が生まれた。不死者を作り出すのは、不死者となる牙と、その命を預かる棺、二人の混血の契約者。
シュラム　牙と棺ね。だからこそ、この国は混血を忌み嫌うってわけだ。それにしても、レド。どうしてあんたはそんなに不死者に詳しいんだ？
レド　五年前のあの日…俺はいたんだよ、混血村にな。
ラピス　何ですって？
レド　あの日はやけに明るい夜だった。村はいつもと変わらない眠りにつこうとしていたのに、平穏な夜は一瞬にして姿を変えた。村には血の匂いが立ち込め、家々は炎に包まれた。
シュラム　不死者の仕業か。
レド　村に火をかけたのは国王軍だ。不死者の存在を知り、村ごと消滅させようとな。
ラピス　村には混血以外の人もいたはずなのに…ひどい。
レド　そして血の匂いに反応するように…不死者も姿を現した。今でもはっきりと覚えている。村人、国王軍問わず奴の手により多くの者が死んだ。あれは間違いなく…化け物だ。

炎上音。五年前の混血村へ。

アッシュ　カーミラ！　カーミラ！
セレン　アッシュ！
アッシュ　セレン！　カーミラを見なかったか！（ＳＥ）ちくしょー！　村が…俺たちの村が…。
セレン　ひどい…誰がこんなことを…。
アッシュ　…不死者…不死身の化け物だ！
セレン　国王軍じゃないの？
アッシュ　わからない。国王軍もいるのかもしれないけど、暴れているのは不死者だ！　不死者が村のみんなを襲ってる！　もうすぐ、ここにも来るぞ！
セレン　不死者って…、まさか不死身の牙…伝承の契約者…？

変転。

ガイ　この村より、不死者が生まれた！　つまりは、この村には穢れた血を持つ者、混血がいる！　混血村を滅ぼし、穢れた血を絶つのだ！

変転。カーミラ登場。

アッシュ　カーミラ！　カーミラ…よかった…無事だったんだな！　こっちだ！　一緒に逃げよう。
セレン　ねぇ、アッシュ、どうなってるの？　本当に伝承の契約者がいるなら、不死身の牙は、私たちと同じ混血でしょ？　どうして私たちの村を…。
アッシュ　知るかよ！　それより、カーミラ！　早く…。
カーミラ　不死身の牙を生む、混血の契約…ねぇ、契約は確か二人の混血により指輪で結ばれるのよね？
セレン　…混血の契約は、不死身の牙と、その命を預かる棺により結ばれる…。
アッシュ　伝承ではな！　でもそんなの今は…！
カーミラ　私…どうしてこの指輪をしているの…？

セレン　それは…まさか契約の…？
カーミラ　覚えてないの…私…こんな指輪知らない…。私…誰かと契約を…？　一体誰と…。（ハケル）
アッシュ　カーミラ！　そっちに行っちゃダメだ！（ＳＥ）
カーミラ！
レド　まだ誰かいるのか！　何してるんだ、早く逃げろ！
アッシュ　でも…カーミラが！
レド　カーミラ…。いいから来い！　早くしろ！　来たぞ…不死者だ！
レド、セレン、アッシュ、ハケル。変転。再び現在へ。
シュラム　なるほど。不死身の化け物が混血村の出身…混血の契約者か。だからこそ国王軍は村を滅ぼした。あの男の言ったこと、あながち嘘でもなさそうだな。
ラピス　どうするの？
シュラム　混血の上に不死者、確かにその力があれば百人力だ。
クレイ　問題は我々に手を貸してくれるかか。
ラピス　そんな化け物が、そう簡単に私たちの言うことを聞くとは思えないわ。
シュラム　まぁ、いいだろう。不死身の牙か…。ラピス、不死者の伝承を調べなおしてくれ。クレイはそいつの情報を集めろ。
クレイ　探すのか、不死者を。しかし、五年前に生まれた不死者の正体は国王クロイツだという噂もある。本当にレドの言う不死者がいるかどうか…。
シュラム　知ってるさ。だからこそ興味がわいた。もし、クロイツじゃないもう一人の不死者がいるとしたら、いや…クロイツが不死者である可能性があるからこそ、そいつにはどうしても会う必要がある。仲間にするかは会ってから決めるさ。

3　契約

ブラン教会。トレランシア登場。

ランシア　陰りが…。
ノイン　どうなさいました。トレランシア様。
ランシア　日に陰りが見えます。
ノイン　日と言っても、この地下国家ヴァンディアに太陽はありません。あるのは太陽の代わりに光る…。
ランシア　サンライト…その鉱石のおかげで、我が国は明るさを保っている。サンライトはヴァンディアにとっての太陽です。
ノイン　では、サンライトに陰りが見えると。しかしサンライトが光るのは一か所ではありません。
ランシア　ええ。この国は大きな洞窟のようなもの。天に散りばめられたサンライトによって、この国は照らされています。しかし、天のサンライトは実際に太陽の光を得て光り輝くと言われています。
ノイン　天のサンライトの向こうに、本当の太陽が…地上があるということですよね。では…。
ランシア　ええ。感じるのです。サンライトの向こう、本当の太陽に陰りを…。何か起こらなければいいのですが。
シャトー　トレランシア。
ランシア　どうしました、シャトー。
シャトー　不死者が現れた。探してくれないか、不死身の牙を。
ランシア　不死者を探す？　それは一体どういうことですか…。
シャトー　噂が流れている。不死者が再び現れたと。その噂の主を知りたい。力を貸してもらえないか、トレランシア。
ランシア　不死者の噂が流れる者は一人知っています。仮面王クロイツか。
シャトー　噂の不死者はクロイツではないと…？
ランシア　それを確かめたい。
シャトー　…わかりました。探してみましょう。
ランシア　頼む。（ハケル）
ノイン　ノイン。今の話…三年前に生まれた不死者かもしれません。
ランシア　三年前っていうと、今の国王クロイツが、この国の王となった時…ですか？
ノイン　それだけではありません。二度目の魔の契約が、あの日に結ばれた。運命とは不思議なものです。契約の成されたあの日に、この国も姿を変えました。
ランシア　トレランシア様は…その不死者をご存じなんですか？
ノイン　混血の契約は…不死身の牙を生みます。全ては伝承でした。混血の契約も、不死身の牙も。しかし、あの日、混血村が不死身の牙によって滅ぼされたあの日に、伝承は現実となって私たちの前に姿を現した。それが五年前…。でもそれから二年後、契約は再び成された。
ランシア　それが三年前の契約…。それでは…不死者は…。
ノイン　そう。不死者は…二人いるのです。あの日、新たな不死身の牙を生む為に契約はなされた…。
ランシア　トレランシア様…。

ランシア　お行きなさい、ノイン…。二人目の不死身の牙の名は…アッシュ。

ノイン、ハケル。

ランシア　全ては三年前…これはわたくしの罪…。

変転。三年前の風景へ。

トレランシア、指輪の入った箱を取り出す。

ランシア　準備は整いました。本当にこれでいいのですか？

アッシュ　ああ。ようやくこの時がきたんだ。

ランシア　アッシュ…。

セレン　…不死身の牙、そして棺。混血の二人により契約は成される。私たち二人が成人し、初めて混血の契約を結ぶことができる。それが今日。

ランシア　セレン…。

アッシュ　村が滅ぼされて二年…もう二年だ…。あれからずっと…ずっと俺たちは…。俺たちの村を滅ぼした不死身の牙。あの化け物を滅することが出来るのは、同じ化け物…不死身の牙しかいない。だからこそ契約を…。

セレン　

アッシュ　カーミラをおとしいれ、村を滅ぼしたあいつを、決して許しはしない。

ランシア　あなたたちに神のご加護が…光があらんことを…。

トレランシア、ハケル。

セレン　

アッシュ　アッシュ…。

セレン　…ようやくこの時が来た。

アッシュ　ねえ、本当にいいの？

セレン　ああ。俺たちには力が必要だ。例えこの身が…。

アッシュ　この身が…化け物と化しても…？

セレン　ああ。

アッシュ　この契約が結ばれれば、あなたの命は私に預けられ…。

セレン　

アッシュ　お前が生きている限り、俺の命は永らえ続ける。

セレン　アッシュの命は、私が守るわ。

アッシュ　セレンの分も、俺が戦う。

セレン　…ねえ、アッシュ。これは永い夜の始まり。終わりはない。明かりはない。これは…間違いだよ。

アッシュ　それでも俺は…俺たちは力を手に入れなければいけない。全てはカーミラの為だ。

セレン　

アッシュ　うん。…私は棺。あなたは牙。

二人　…この夜を共に生きよう。

契約の儀を。

二人が互いに指輪をはめる。契約の儀。イメージシーンへ。

セレンの変身。

不死の力を得たアッシュ。アッシュのイメージアクション。

カーミラを思い、契約の指輪に思いをはせ、駆け出すアッシュ。

次いで、セレン登場。指輪に思いをはせ、祈りを捧げる。

と同時に時は現在へ。

セレン　…あれは永い夜の始まり。…契約を交わしたあの日から、今日で三年目の夜。まだ三年だよ、アッシュ。

マキシオ　

セレン　セレン。

マキシオ　祈りの間は邪魔をしないでと言ったはずよ。

セレン　クロイツ様の伝言だ。すぐに城に戻るようにと。

マキシオ　聞こえなかった？　祈りの邪魔をしないでと言ったの。

セレン　

マキシオ　いい気になるな。クロイツ様のご命令がなければ、お前など…。

セレン　どうするの？　クロイツ様のご命令なしで動けないあなたに、私をどうこう出来るのかしら。

マキシオ　貴様。

セレン　戻るわ。それで、一体何の用なの？

マキシオ　噂が流れている。不死者が現れたと。

セレン　不死者が…。もしかしてアッシュが…それとも…。

4　地上から来た者たち

SE。頭上にあいた穴から落ちてくる三人。

薄暗い舞台。

下敷きになったハーディス。上にソフィアが座り、ヴィドーが足を乗せている。

ソフィア　

ハーディス　いったーーーい！

ヴィドー　(咳き込みながら)無事か、二人とも。

ソフィア　ああ…なんとかな。

もう、誰よ！　こんなところから行こうって言ったの！

ヴィドー　

ソフィア　お前が近道しろって言ったんだろソフィア！

ハーディス　そうだったっけ？

ソフィア　ところで…聞きたいんだが…。

ハーディス　何よ、ハーディス。

ヴィドー　俺は…一体いつまでこうしていればいいんだ？

ソフィア　え？　うわ！　ソフィア！　乗ってる乗ってる！

ヴィドー　

ソフィア　え？　あ、ごめん。

ヴィドー　すまん、ハーディス！　足場が悪くて気づかなかな

ったみたいだな！

ハーディス　貴様もだ、ヴィドー！

ヴィドー　あれ？　うわ！

ハーディス　…俺の上からどけ！　まったく二人ともいい加減に…。

ソフィア　そんなことより、ここどこ？　無事にヴァンディアに入り込めたの？

ハーディス　今お前そんなことって言ったな…。俺を足蹴にすることのどこがそんなことだ？

ソフィア　小さいこと気にすんじゃないわよ。男のくせに細かいわね。

ヴィドー　暗いな、ここは。なぁ、地下国家ってこんな感じなの？

ハーディス　俺に聞くな！　俺もヴァンディアに来るのは初めてなんだ。話によれば、サンライトという鉱石が光り、地下とは言っても明るいと聞いたが…。でも、暗いじゃない。じゃあ、ここはヴァンディアじゃないってこと？

ソフィア　調べてみないとわからんな。

ハーディス　サンライトは鉱石だ。鉱石が地表に出てないと明るいわけないだろ。

アッシュ　あぁ、確かに。

ヴィドー　じゃあさ、ちょっとそのへん掘ってみたら、明るくなるんじゃないの？

ソフィア　いくらヴァンディアがサンライトの多くとれる土地とは言え、そう簡単にはいかないだろ。

ハーディス　いや、案外簡単に見つかるぜサンライトは。小さい鉱石なら、それこそいくらでも埋まってるからな。

アッシュ　ほら、そう言ってるじゃない。ヴィドー、掘ってみてよ。

ソフィア　わかったよ…。それじゃあとりあえずこのへんを…。（掘る）

ヴィドー　ところで、さっきから気になってるんだが…。

ハーディス　今度は何よ、ハーディス。

ソフィア　さっきから…俺たちは誰と話してるんだ？

ハーディス　お！　あったあった光る石、これで少しは明るく…（アッシュに気付き）うわあああ！

ヴィドー　誰だ、お前ら。ヴァンディアの民じゃないな。

アッシュ　あなた、いつの間に！

ソフィア　最初からいたさ。人のねぐらに勝手に入ってきたのはそっちだろ。

アッシュ　ヴァンディアの者か…。

ハーディス　まあな。

アッシュ　ヴァンディアは他国の者との交わりを極端に嫌う。お前に恨みはないが、俺たちの存在をまだ国に知られる訳にはいかない。

ハーディス、斬りかかる。アッシュ斬られる。

ハーディス　貴様…どうしてよけなかった…。

アッシュ　悪いな。俺は不死身なんだ。

ヴィドー　そんな…まさか…。

ソフィア　傷が…ほんとにいた…不死身の人間。

ハーディス　噂は本当だったのか…ヴァンディアの民は太陽の明かりに弱く、それ故地下国家を築き上げた。そしてその種族は、人の生き血を吸い…不死身の体を持つ闇に生きる種族…。

アッシュ　おいおい。とんだ化け物扱いだな。（剣を向ける）

ソフィア　（臨戦態勢に入ろうとするハーディスを止め）ハーディス！

ハーディス　手荒な真似をしてすまなかった。俺たちは地上からお前たちを探しにきた。俺たちに、力を貸してほしい。

アッシュ　面白いこと言うな。力を貸せだって？　俺は、化け物だぞ。

ハーディス　だからこそ、だ。俺たちにはお前の力が必要だ。

アッシュ　不死者の力が。

ヴィドー　勝手なこと言いやがる。

アッシュ　なぁ、お前たちの開けたその穴。その向こうには地上…太陽があるのか？　本物の太陽が。

ソフィア　何よ急に…。

ヴィドー　その通りだ。長い抜け穴だから、地上は遠く先だけど。

アッシュ　そうか、不思議なもんだな…出口は必ずあるのに、その光さえ見えない。永い夜みたいだ。

ハーディス　永い…夜？

変転。イメージシーンへ。

セレン　ねえ…これは永い夜の始まり

A　明けない夜がないように…

B　昇らない太陽がないように…

セレン　終わりはない

アッシュ　灯りはない

セレン　これは…間違いだよ

C　私とあなたの世界は終わる

C　それでも…

A　私とあなたの世界は終わる

アッシュ　終わらせないわ、私は…

セレン　これは永い夜の始まり

B　明けない夜がないように

C　昇らない太陽がないように

B

A　私とあなたの世界は終わる
C　それでも…
セレン　それでも私が
B　それでも…
セレン　私が望んだら、あなたは私と夜に沈んでくれますか？
レド　最初の契約が結ばれた…それが五年前…。
クロイツ　そして二度目の契約が結ばれた…それが三年前。
レド　契約により、二人の不死者が生まれた。
クロイツ　それと同時に…二人の化け物が生まれた。
セレン　私は棺。あなたは牙。
クロイツ　永い夜の始まりだ。
アッシュ　俺は…この夜からお前を助けてみせる…カーミラ。

カーミラ登場。
タイトル映写。オープニングイメージダンス。